

2020年度

第2回



# 機械保全技能検定

特級  
1級・2級

## 受検案内

本受検案内は2020年度実施の機械保全職種特・1・2級の受検案内です

技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。

公式サイト : <https://www.kikaihozenshi.jp/>

試験実施に関する変更事項や受検者への通知事項がある場合など試験実施に関する最新の情報は、公式サイトに掲載します。  
必ず公式サイトで最新の情報を確認してください。

### [受検申請期間]

インターネット申請 2020年9月7日(月) 10:00 ~ 10月2日(金) 18:00

郵送申請 2020年9月7日(月) ~ 9月25日(金) 消印有効



厚生労働大臣指定試験機関  
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
Japan Institute of Plant Maintenance



# INDEX

## Chapter 1 機械保全技能検定 特級・1級・2級試験概要

1. 等級・作業	P.4
2. 試験方法と合格基準	P.4
3. 試験実施日	P.4
4. 特級、1級、学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く）	P.5
5. 2級、学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く）	P.6
6. 電気系保全作業 実技試験	P.7
7. 受検区分と受検手数料	P.8
8. 受検資格	P.8
9. 試験の免除	P.12
10. 免除付受検申請と一部合格者の合格証書交付申請	P.13
11. 受検申請後の試験に関するスケジュール	P.13

## Chapter 2 受検申請手続き

1. 受検申請上の注意点	P.14
2. 個人申請の流れ	P.16
3. 団体申請の流れ	P.17
4. 団体情報登録（団体マイページ登録）	P.18
5. 個人情報登録（個人マイページ登録）	P.18
6. 団体／個人マイページの利用方法	P.19
7. 受検申請期間・方法	P.20

## Chapter 3 FAQ（よくあるお問合せ）

1. FAQ（よくあるお問合せ）	P.22
2. お問合せ先	P.23

## 1 等級・作業

## (1) 等級

・特級、1級、2級

## (2) 作業

・機械系保全作業、電気系保全作業、設備診断作業 (特級には、作業の区分はありません)

## 2 試験方法と合格基準

## 学科試験

等級	出題形式・出題数	解答方法	試験時間
特級	五肢択一 50問	マークシート方式	120分
1級	真偽法 25問、四肢択一 25問	マークシート方式	100分
2級	真偽法 25問、四肢択一 25問	マークシート方式	100分

<合格基準：加点法で100点満点として65点以上で合格>

## 実技試験

作業と等級	実施方法・出題数	解答方法	試験時間
特級	計画立案等作業試験・10課題	マークシート方式	150分
機械系保全作業 (1級・2級)	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
電気系保全作業 (1級・2級)	製作等作業試験・2課題	作業採点 (一部マークシート方式) ※工具等の持参が必要	110分
設備診断作業 (1級・2級)	判断等試験 1級10課題・2級8課題	マークシート方式	1級：100分 2級：80分

<合格基準：減点法で41点以上の減点がない場合は合格>

※必要な工具は公式サイトに掲載しております

## 3 試験実施日

等級	作業	試験区分	試験実施日(期間)
特級	—	学科・実技	2021年1月17日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
1級	機械系保全作業	学科・実技	
	設備診断作業	学科・実技	
2級	電気系保全作業	学科	2020年12月20日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
	機械系保全作業	学科・実技	
	設備診断作業	学科・実技	
1級・2級	電気系保全作業	実技	2020年12月5日(土)～2021年2月21日(日) 期間内の土曜日・日曜日に実施

## 4 特級、1級、学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く）

### 全国統一試験日：2021年1月17日（日）

受検申請書の希望受検地区欄に受検を希望する受検地区を記入してください。

※同じ試験日で学科・実技を両方受検する方は、学科と実技で別の受検地区は選択できません

※新型コロナウイルス感染症により、下記の受検地区内に会場が確保できない場合、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合があります

受検地区名	1月17日（日）				受検地区名	1月17日（日）			
	1級			特級		1級			特級
	機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技	学科・実技		機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技	学科・実技
札幌	○	○	○	○	津	○	○	○	○
青森	○	○	—	—	大津	○	○	○	○
盛岡	○	○	—	—	京都	○	○	○	○
仙台	○	○	○	○	大阪	○	○	○	○
秋田	○	○	—	—	神戸	○	○	○	○
山形	○	○	—	—	姫路	○	○	—	—
郡山	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○
水戸	○	○	○	○	和歌山	○	○	—	—
宇都宮	○	○	○	○	鳥取	○	○	—	—
前橋	○	○	○	○	松江	○	○	—	—
太田	○	○	—	—	岡山	○	○	○	○
さいたま	○	○	○	○	広島	○	○	○	○
千葉	○	○	○	○	福山	○	○	—	—
23区内	○	○	○	○	山口	○	○	○	○
横浜	○	○	○	○	徳島	○	○	—	—
新潟	○	○	○	○	高松	○	○	○	○
富山	○	○	○	○	今治	○	○	—	—
金沢	○	○	○	○	高知	○	○	—	—
福井	○	○	○	○	福岡	○	○	○	○
甲府	○	○	—	—	北九州	○	○	—	—
松本	○	○	○	○	佐賀	○	○	—	—
岐阜	○	○	○	○	長崎	○	○	—	—
静岡	○	○	—	—	熊本	○	○	—	—
浜松	○	○	○	○	大分	○	○	—	—
名古屋	○	○	○	○	宮崎	○	○	—	—
岡崎	○	○	—	—	鹿児島	○	○	—	—
豊橋	○	○	—	—	那覇	○	○	○	○

#### 【注意】

○試験会場は、受検地区欄に記入の都市または周辺都市に設置します。

○各試験会場の定員は、昨年度実施の受検者数を考慮し、一定割合の増加分を加味しています。

○受検地区別に、想定以上の受検者の増加があった場合は、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合があります。

また、受検者が想定人数に満たない地区は、試験を実施しない場合があります。

※受検地区（試験会場）の決定は受検票内でご案内します

○1級電気系保全作業の実技試験は、受検案内7ページを確認してください。

## 5 2級、学科試験、実技試験（電気系保全作業の実技試験を除く）

## 全国統一試験日：2020年12月20日（日）

受検申請書の希望受検地区欄に受検を希望する受検地区を記入してください。

※同じ試験日で学科・実技を両方受検する方は、学科と実技で別の受検地区は選択できません

※新型コロナウイルス感染症により、下記の受検地区内に会場が確保できない場合、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合があります

受検地区名	12月20日（日）			受検地区名	12月20日（日）		
	2級				2級		
	機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技		機械系・電気系 学科	機械系 実技	設備診断 学科・実技
札幌	○	○	○	豊橋	○	○	—
青森	○	○	—	津	○	○	○
八戸	○	○	—	大津	○	○	—
北上	○	○	—	京都	○	○	—
仙台	○	○	○	大阪	○	○	○
秋田	○	○	—	神戸	○	○	○
山形	○	○	—	姫路	○	○	—
郡山	○	○	○	奈良	○	○	—
水戸	○	○	—	和歌山	○	○	—
つくば	○	○	—	鳥取	○	○	○
宇都宮	○	○	—	松江	○	○	—
前橋	○	○	—	岡山	○	○	○
太田	○	○	—	広島	○	○	○
さいたま	○	○	—	福山	○	○	—
千葉	○	○	—	山口	○	○	○
23区内	○	○	○	徳島	○	○	—
横浜	○	○	○	高松	○	○	○
新潟	○	○	○	新居浜	○	○	—
富山	○	○	○	高知	○	○	—
金沢	○	○	—	福岡	○	○	○
福井	○	○	○	北九州	○	○	—
甲府	○	○	—	佐賀	○	○	—
松本	○	○	○	長崎	○	○	—
岐阜	○	○	○	熊本	○	○	—
静岡	○	○	—	大分	○	○	—
浜松	○	○	○	宮崎	○	○	—
名古屋	○	○	○	鹿児島	○	○	—
岡崎	○	○	—	那覇	○	○	○

## 【注意】

○試験会場は、受検地区欄に記入の都市または周辺都市に設置します。

○各試験会場の定員は、昨年度実施の受検者数を考慮し、一定割合の増加分を加味しています。

○受検地区別に、想定以上の受検者の増加があった場合は、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合があります。

また、受検者が想定人数に満たない地区は、試験を実施しない場合があります。

※受検地区（試験会場）の決定は受検案内でご案内します

○1級電気系保全作業の実技試験は、受検案内7ページを確認してください。

## 6 電気系保全作業 実技試験

**試験実施期間：2020年12月5日(土)～2021年2月21日(日)** ※期間内の土曜日・日曜日に実施

受検申請書の希望受検地区欄に受検を希望する受検地区を記入してください。

※受検地区は選択できますが、試験会場・試験日については選択(指定)できません

※新型コロナウイルス感染症により、下記の受検地区内に会場が確保できない場合、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合があります

試験日程	【1級】受検地区名
12月12日(土)-13日(日)	秋田、水戸、前橋、千葉、横浜、金沢、松本、静岡、浜松、名古屋、津、京都、神戸、岡山、山口、今治、熊本、鹿児島
12月19日(土)-20日(日)	北上、山形、水戸、宇都宮、さいたま、23区内、新潟、福井、名古屋、岐阜、浜松、大津、大阪、姫路、広島、徳島、北九州、大分
1月9日(土)-10日(日)	札幌、青森、仙台、郡山、横浜、富山、甲府、静岡、名古屋、津、大阪、鳥取、広島、高松、宮崎、那覇
2月20日(土)-21日(日)	名古屋 ※予備日

試験日程	【2級】受検地区名
1月9日(土)-10日(日)	青森、松本、神戸、那覇
1月16日(土)-17日(日)	札幌、宇都宮、前橋、さいたま、横浜、富山、岐阜、浜松、津、大阪、岡山、高松、長崎、大分
1月23日(土)-24日(日)	帯広、北上、水戸、23区内、横浜、静岡、浜松、津、大阪、奈良、福山、今治、熊本
1月30日(土)-31日(日)	秋田、山形、水戸、千葉、横浜、金沢、松本、静岡、浜松、名古屋、津、京都、大阪、和歌山、山口、宮崎
2月6日(土)-2月7日(日)	宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、新潟、富山、福井、甲府、浜松、名古屋、大津、鳥取、岡山、広島、北九州
2月13日(土)-2月14日(日)	仙台、郡山、宇都宮、甲府、岐阜、静岡、名古屋、大津、大阪、神戸、姫路、松江、岡山、広島、徳島、佐賀、鹿児島
2月20日(土)-21日(日)	名古屋 ※予備日

### 【注意】

○試験会場は、受検地区欄に記入の都市又は周辺都市に設置します。

○受検地区は選択できますが、試験会場・試験日については選択(指定)できません。

○各試験会場の定員は、昨年度実施の受検者数を考慮し、一定割合の増加分を加味しています。

○受検地区別に、想定以上の受検者の増加があった場合は、周辺地区への試験会場の変更をお願いする場合や、予備日での開催をお願いする場合があります。

○規定人数の受検者が満たない地区は、試験を実施しない場合があります。

※受検日・受検地区(試験会場)の決定は受検票内で案内します

## 7 受検区分と受検手数料

<特級・1級・2級(2020年4月1日時点で35歳以上の方)>

受検区分	受検手数料(非課税)
区分A：学科試験・実技試験両方の受検	19,400円
区分B：学科試験のみ受検	4,000円
区分C：実技試験のみ受検	15,400円

<2級(2020年4月1日時点で35歳未満の方)>

※1985年(昭和60年)4月2日生まれ以降の受検者が該当

受検区分	受検手数料(非課税)
区分A：学科試験・実技試験両方の受検	10,400円
区分C：実技試験のみ受検	6,400円

## 8 受検資格

受検申請するには受検資格No.が必要になりますので、下記の受検資格について、よくご確認いただき受検申請をしてください(特級は除く)。

受検資格は原則として、機械保全に関する業務に就いていた実務経験年数により判定します。

実務経験年数が受検資格に満たない場合は、技能検定の合格歴、学校の卒業歴や職業訓練歴などで短縮されることがあります。

各受検者の受検資格については「(2) 受検資格と受検申請方法について」と「(3) 各等級の受検資格(短縮要件)」で、受検申請方法と受検資格No.を確認してください。

## (1) 実務経験年数

①受検に必要な実務経験年数

等級	受検に必要な実務経験年数
特級	1級合格後5年以上
1級	7年以上
2級	2年以上

※受検申請時に、実務経験年数を証する書類の添付は不要です

②機械保全に関する業務(例)

- ・機械、設備の保全計画の作成
  - ・機械、設備に生ずる欠陥の発見
  - ・機械、設備の異常時の対応
  - ・機械、設備状況の測定データの収集
  - ・機械、設備状況の測定データの解析および判定
  - ・機械、設備の保全方法の決定および処置
- ※機械保全に関する管理監督、訓練、教育、研究に関する業務、入職後の訓練・教育を受けた期間も含まれます

③実務経験年数の算出方法

機械保全に関する業務に就いた日から受検申請最終日「2020年10月2日(金)」までです。

「1級合格後」は、1級合格日の翌日から受検申請最終日までを算出してください。

## (2) 受検資格と受検申請方法について

下表と「(3) 各等級の受検資格(短縮要件)」と併せて申請者の受検資格Noと申請方法をご確認ください。

等級	受検資格(短縮要件)とNo		申請方法	備考
特級	1級技能士合格後 実務経験年数5年	—	インターネット申請 郵送申請	受検資格Noは不要
1級	A 実務経験年数	A-1	インターネット申請 郵送申請	郵送申請の場合は1級受検申請書で申請
	B 技能士合格	B-2、B-3		
	C 学校卒業	C-4~C-12		
	D 普通職業訓練修了	D-13~D-25	郵送申請のみ	郵送申請の場合は1級受検申請書で申請 ※インターネット申請はできません
	E 高度職業訓練修了	E-26~E-32		
	F 指導員訓練修了等	F-33~D-45		
	G 個別認定の職業訓練	G-46		
2級	A 実務経験年数	A-51	インターネット申請 郵送申請	郵送申請の場合は2級受検申請書で申請
	B 技能士合格	B-52		
	C 学校卒業	C-53~C-58		
	D 普通職業訓練修了	D-59~D-65	郵送申請のみ	郵送申請の場合は2級受検申請書で申請 ※インターネット申請はできません
	E 高度職業訓練修了	E-66~E-72		
	F 指導員訓練修了等	F-73~F-85		
	G 個別認定の職業訓練	G-86		

※団体申請で受検資格No.A、B、Cと受検資格No.D、E、F、Gが混在する場合

1) 郵送申請で受検申請を行ってください。

2) インターネット申請は受検資格No.A、B、Cのみ可能です。

受検資格No.D、E、F、Gの受検者がいる場合は、A、B、Cとは別に団体登録をして申請してください。ご不明な点がある場合は、受検サポートセンターへお問い合わせください。

## (3) 各等級の受検資格(短縮要件)

① 特級(受検資格一覧表)

特級の受検資格は下表の通り1種類で、短縮要件はありません。

受検申請は「団体×個人×インターネット申請×郵送申請」のすべて行っていただけます。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容(特級)	合格後の実務経験年数
技能士合格と 実務経験年数	—	1級 機械保全技能検定合格	5年以上

## ② 1級(受検資格一覧表)

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請を行ってください。

受検資格No.B～Gの方は「受検資格の内容」を満たした後に記載の実務経験年数が必要です。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容(1級)	合格・卒業・修了後の 実務経験年数
A 実務経験年数	A-1	機械保全に関する実務経験7年以上	—
B 技能士合格	B-2	2級 機械保全技能検定合格	2年以上
	B-3	3級 機械保全技能検定合格	4年以上
C 学校卒業	C-4	高校卒業(機械保全職種に関する学科)	6年以上
	C-5	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学入学資格付与課程に限る)	
	C-6	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数800時間以上)	
	C-7	短大・高専・高校専攻科卒業(機械保全職種に関する学科)	5年以上
	C-8	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学編入資格付与課程に限る)	
	C-9	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数1600時間以上)	
	C-10	大学・大学院卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-11	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学院入学資格付与課程に限る)	4年以上
	C-12	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数3200時間以上)	
	D 普通 職業訓練修了	D-13	短期課程【機械保全科】修了(授業時間数700時間以上)
D-14		普通課程 機械系【機械加工科】修了(授業時間数2800時間未満)	
D-15		普通課程 機械系【精密加工科】修了(授業時間数2800時間未満)	
D-16		普通課程 機械系【機械技術科】修了(授業時間数2800時間未満)	5年以上
D-17		普通課程 電気電子系【製造設備科】修了(授業時間数2800時間未満)	
D-18		普通課程 電気電子系【電気機器科】修了(授業時間数2800時間未満)	
D-19		普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了(授業時間数2800時間未満)	
D-20		普通課程 機械系【機械加工科】修了(授業時間数2800時間以上)	
D-21		普通課程 機械系【精密加工科】修了(授業時間数2800時間以上)	
D-22		普通課程 機械系【機械技術科】修了(授業時間数2800時間以上)	
D-23		普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了(授業時間数2800時間以上)	4年以上
D-24		普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了(授業時間数2800時間以上)	
D-25		普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了(授業時間数2800時間以上)	
E-26	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【生産技術科】修了	3年以上 2級合格の場合：1年以上 3級合格の場合：2年以上	
E-27	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了		
E-28	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気技術科】修了		
E-29	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	1年以上	
E-30	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了		
E-31	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了		
E-32	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了		
F 指導員 訓練修了等	F-33	長期課程【精密機械システム工学科】修了	1年以上
	F-34	長期課程【機械制御システム工学科】修了	
	F-35	長期課程【電気システム工学科】修了	
	F-36	長期課程【機械システム工学科】修了	
	F-37	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了	
	F-38	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了	
	F-39	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了	
	F-40	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	F-41	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	F-42	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
	F-43	指導員免許【機械科】取得	
F-44	長期養成課程【機械指導科】修了	0年(問わない)	
F-45	長期養成課程【電気指導科】修了		
G 個別認定の 職業訓練	G-46	公式サイトの「当協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格(短縮要件)」で確認してください。	

機械保全職種に関する学科の目安は次のページへ▶▶▶

③ 2級 (受検資格一覧表)

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請を行ってください。

**受検資格No.B ~ Gの方は「受検資格の内容」を満たしていれば、実務経験は問いません。**

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容 (2級)	合格・卒業・修了後の実務経験年数
A 実務経験年数	A-51	機械保全に関する実務経験2年以上	—
B 技能士合格	B-52	3級機械保全技能検定合格	
C 学校卒業	C-53	高校卒業 (機械保全職種に関する学科)	0年 (問わない)
	C-54	短大卒業 (機械保全職種に関する学科)	
	C-55	高専卒業 (機械保全職種に関する学科)	
	C-56	専修学校卒業 (機械保全職種に関する学科)	
	C-57	高校専攻科卒業 (機械保全職種に関する学科)	
	C-58	大学・大学院卒業 (機械保全職種に関する学科)	
D 普通 職業訓練修了	D-59	短期課程【機械保全科】修了	
	D-60	普通課程 機械系【機械加工科】修了	
	D-61	普通課程 機械系【精密加工科】修了	
	D-62	普通課程 機械系【機械技術科】修了	
	D-63	普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	D-64	普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
E 高度 職業訓練修了	E-66	専門課程 (特定専門課程) 機械システム系【生産技術科】修了	
	E-67	専門課程 (特定専門課程) 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了	
	E-68	専門課程 (特定専門課程) 電気・電子システム系【電気技術科】修了	
	E-69	専門課程 (特定専門課程) 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	
	E-70	応用課程 (特定応用課程) 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了	
	E-71	応用課程 (特定応用課程) 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了	
F 指導員 訓練修了等	F-72	応用課程 (特定応用課程) 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了	
	F-73	長期課程【精密機械システム工学科】修了	
	F-74	長期課程【機械制御システム工学科】修了	
	F-75	長期課程【電気システム工学科】修了	
	F-76	長期課程【機械システム工学科】修了	
	F-77	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了	
	F-78	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了	
	F-79	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了	
	F-80	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	F-81	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	F-82	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
	F-83	指導員免許【機械科】取得	
	F-84	長期養成課程【機械指導科】修了	
F-85	長期養成課程【電気指導科】修了		
G 個別認定の 職業訓練	G-86	公式サイト上の「当協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格 (短縮要件)」で確認してください。	

※機械保全職種に関する学科の目安について

- 工業高校などの場合 ○：機械科、電気科、機械工学科など  
 ×：普通科、商業科、土木科、建築科など  
 大学・短大などの場合 ○：工学部 機械工学科、電気工学科など  
 ×：文系学科・学部 (文学、経済、経営、法)、医学部など

ご不明な場合は公式サイトのお問い合わせフォームにてお問い合わせください。

※お問い合わせ・ご相談内容欄に正式な学校名・学科名を入力してください

※お調べしてご回答します。回答までに数日間要する場合があります

※学校卒業は、受検資格に当てはまる学歴をご記入ください

(最終学歴を書く必要はありません)

お問い合わせはこちらから

検索  **お問い合わせ**

新規登録・マイページログイン

**機械保全技能検定**

個人受検者の方はこちら | 団体受検者の方はこちら | 団体責任者の方はこちら

試験要項 | 2019年度 第1回試験の概要 | 平成30年度 第2回試験の概要 | 受検申請 | 合格証書 | 外国人技能実習生対象 (基礎級等)

お知らせ (ニュース・更新情報) [一覧を見る](#)

- 2019/05/28 検定試験 京田路技能検定助成事業のご案内
- 2019/05/15 検定試験 3級 電気系保安作業 実技試験の試験問題を公表しました
- 2019/04/22 今秋 ゴールデンウィーク休業のお知らせ (休業期間：2019年4月27日 (土)～30日 (月))

よくある質問 | 合格発表・番号検索 | 過去の試験問題

## 9 試験の免除

機械保全技能検定における試験の免除は下記の通りです。

## (1) 技能検定合格または一部合格による試験の免除

対 象	技能検定試験の免除の範囲				備 考
	特級	1 級	2 級	3 級	
特級	実技試験のみ合格	実技試験免除	—	—	特級の实技試験または学科試験に合格した日から5年間(最終年は年度終わりまで)有効
	学科試験のみ合格	学科試験免除	—	—	
1 級	技能士合格	—	学科試験免除		同一作業に限る
	実技試験のみ合格	—	実技試験免除		
	学科試験のみ合格	—	学科試験免除		
2 級	技能士合格	—	—	学科試験免除	同一作業に限る
	実技試験のみ合格	—	—	実技試験免除	
	学科試験のみ合格	—	—	学科試験免除	
3 級	技能士合格	—	—	学科試験免除	同一作業に限る
	実技試験のみ合格	—	—	実技試験免除	
	学科試験のみ合格	—	—	学科試験免除	

## (2) 職業訓練による試験の免除

職業訓練の種類	訓練課程	訓練期間	訓練系等	専攻科等	学科試験免除	備 考
普通職業訓練	短期課程	短期	(1級または2級)技能士コース	機械全科	○	修了時試験合格が必要
高度職業訓練	専門課程 (特定専門課程)	長期 (2年)	機械システム系	生産技術科	○	1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格
			電気・電子システム系	電気エネルギー制御科	○	
	応用課程 (特定応用課程)	長期 (2年)	生産システム技術系	生産電気システム技術科	○	特級：技能照査合格＋合格後実務経験5年以上 1級：技能照査合格＋合格後実務経験2年以上 2級：技能照査合格
職業訓練指導員免許	—	—	—	機械科	○	特級は除く

※訓練中の場合は、資格を満たしません

## (3) 当協会が個別に認定した職業訓練による試験の免除

施設の名称	訓練課程	訓練科	総訓練時間の区分	学科試験免除	修了者の適用の範囲
群馬県立前橋産業技術専門学校	普通課程	CAD技術科(機械製図科)	2800時間以上	○	平成27年3月修了者以降 2級：技能照査合格 ※1級は免除になりません
東京都立多摩職業能力開発センター	普通課程	計測機器製造科 (機械組立技術科)	2800時間未満	○	平成24年3月修了者以降 2級：技能照査合格 ※1級は免除になりません
三重県立津高等技術学校	普通課程	メカトロニクス系 メカトロニクス科 (機械制御システム科)	2800時間以上	○	平成19年4月修了者以降 2級：技能照査合格 ※1級は免除になりません
埼玉県立中央高等技術専門学校	普通課程	機械制御システム科 (機械系機械技術科)	2800時間以上	○	平成22年3月修了者以降 2級：技能照査合格 ※1級は免除になりません
広島県立技術短期大学校	専門課程	制御技術科	2800時間以上	○	平成21年4月以降修了者 1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格
職業能力開発総合大学校	専門課程	機械システム系 制御技術科	—	○	平成6年3月修了者～平成24年3月修了者 1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格
東海職業能力開発大学校	専門課程	機械システム系 産業機械科	—	○	平成6年3月修了者～平成14年3月修了者 1級：技能照査合格＋合格後実務経験4年以上 2級：技能照査合格

## (4) 技能検定委員歴による試験の免除

対象者	技能検定試験の免除の範囲				備 考
	特級	1 級	2 級	3 級	
技能検定委員として通算2年以上実技試験を担当した方 ※都道府県、指定試験機関のいずれも可	—	実技の全部			同一作業に限る
技能検定委員として通算2年以上試験問題作成を担当した方 ※中央技能検定委員、指定試験機関のいずれも可	—	学科および実技の全部			

試験の免除については、公式サイトにて「等級別」でも、ご確認いただけます。

▶ <https://www.kikaihozenshi.jp/points/>

## 10 免除付受検申請と一部合格者の合格証書交付申請

### (1) 免除付受検申請

下記の方は免除付受検申請を行ってください。免除付受検申請として取扱い、2020年度第2回試験で一部合格すると、合格証書が交付されます。

※免除付受検申請をしない場合、一部合格しても合格証書は交付されません。また、免除付受検申請をしても結果通知書に技能士番号の記載がない場合は合格証書交付申請が必要です

- (1) 平成27年度以降の試験で技能士合格または一部合格した方
- (2) 平成27年度以降に合格証書交付申請で技能士合格した方  
→受検申請書の必要項目に技能士番号または合格通知番号を記入してください。

技能士番号または合格通知番号が不明の方は下記のサイトで番号を検索できます。

▶<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/result/>

- (3) JTEXで2017年度以降に職業訓練短期課程機械保全コースを修了(合格)した方  
→受検申請書の必要項目にJTEXの受講番号を記入してください。

### (2) 合格証書交付申請

2020年度第2回試験で一部合格し、下記項目にあてはまる方は合格証書交付申請を行ってください。

- (1) 学科試験または実技試験の免除資格(試験合格以外)を有している方
- (2) 平成26年度以前に学科試験または実技試験に一部合格した方
- (3) 平成26年度以前に技能士合格した方
- (4) 平成27年度以降に合格証書交付申請で技能士合格した方

合格証書交付申請の詳細は公式サイトでご確認ください。

▶<https://www.kikaihozenshi.jp/passing/>

## 11 受検申請後の試験に関するスケジュール

### (1) 電気系保全作業 実技試験問題(概要)の事前公開

**2020年11月6日(金)**

・その他の作業は「出題例」として公式サイトに掲載してあります。

### (2) 受検票の発送

**個人発送：2020年11月13日(金)**

**団体発送：2020年11月20日(金)**

- ・1週間程度でお手元に届かない場合、紛失した場合は、受検サポートセンターへご連絡ください。
- ・学科試験・実技試験それぞれの受検票を送付いたします。
- ・受検票の注意事項をよく読んで試験の準備を行ってください。
- ・受検票記載の情報は11月13日(金)からマイページでも確認できます(個人の郵送申請のぞく)

### (3) 正解の公表

**特級・1級：2021年1月22日(金) 10:00～**

**2級：2020年12月25日(金) 10:00～**

・正解は公式サイトにて公表します(電気系保全作業実技試験は正解の公表はありません)。

### (4) 合格発表

**2021年3月19日(金) 10:00～**

- ・合格発表は公式サイト(受検番号のみ)とマイページ(氏名、合否、得点など)でも公表します。
- ・受検番号、合否に関するお問合せにはお答えできません。

### (5) 結果通知発送

**個人発送：2021年3月19日(金)**

**団体発送：2021年3月26日(金)**

・受検者、申請者全員(欠席含む)に試験結果通知書を送付します。

### (6) 合格証書の発送

**2021年4月16日(金)**

- ・学科試験・実技試験を受検して合格した(技能士合格の)方には、合格証書が交付されます。
- ・受検申請時に免除付受検申請欄へ必要項目を記入し、確認が取れた方にも合格証書が交付されます。
- ・試験結果通知書の技能士番号欄が“- (ハイフン)”の場合は、合格証書は交付されません。合格証書交付申請が必要です。

## 1 受検申請上の注意点

下記の注意事項をよく読んでから申請をお願いします。

## (1) 個人情報の取り扱いについて

受検申請手続きで登録・申請いただく情報は、機械保全技能検定試験を実施するために必要なものに限っており、機械保全技能検定試験の実施運営および試験に関する情報提供のみに利用いたします。

## (2) 個人申請と団体申請について

受検申請は、原則として受検者本人からの申請となります。ただし、学校や企業などの団体で受検者を取りまとめる場合は、団体責任者による代理申請も可能です。その際は、**必ず受検者本人の同意(確認)を得てください**。代理申請による受検申請内容に不備があり受検できなかった場合や、不便・費用の不利益が発生しても当会は責任を負いかねます。

## (3) 受検申請書への記入について

受検申請書への記入は、**黒インキ(ボールペン・万年筆など)を用いて、楷書と算用数字で丁寧に記入してください**。

※鉛筆またはシャープペンシルでの記入は不可

記入する文字は、略字・俗字などを使用せず、また、学校名・会社名などに俗称や略称などを使用しないでください。

誤記の場合は、**該当部分を二重線で消して押印訂正、もしくは新しい申請書に初めから書き直してください**。

※修正テープや修正液を使用しての訂正は不可

## (4) 本人確認書類の提出について

全受検申請者の本人確認書類(運転免許証、保険証等の写し等)の貼付またはアップロードが必要となります。本人確認書類の提出がない場合、氏名・生年月日が不鮮明なコピーの場合は、**受検申請を受理できません**。

提出方法は申請方法により異なりますので、申請ごとに確認してください(P19、20参照)。

<本人確認書類として認められる証明書類の例>

①生徒手帳、学生証(氏名・生年月日が記載されていること)

②健康保険被保険者証

③運転免許証

※上記の証明書類でも氏名・生年月日が確認できないものは、認められません

※学生の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)

※①～③以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

## (5) 本人確認書類と受検申請情報の不一致について

本人確認書類と受検申請情報において、**氏名、生年月日が不一致の場合、本人確認書類を正式な情報として取り扱います**。特に氏名に外字がある場合(例: 斉藤の「斉、斎、齋」、山崎の「崎、崎、嵯」、高橋の「高、高」、渡辺の「辺、部、邊、邊」など)は本人確認書類の記載通りに記載してください。

## (6) 希望受検地区について

希望受検地区は、受検申請時に選択できますが、試験会場・日程は選択(指定)できません。決定された試験会場・日程は、受検票もしくはマイページからご確認ください。

## (7) 受検申請時の受検資格について

受検申請するには、受検資格No.が必要になります。該当する受検資格No.を、各等級の受検資格一覧表(1級:P10、2級:P11参照。特級は不要)から1つ選択してください。複数の項目で該当する場合でも、1つの選択で結構です。

## (8) 受検手数料について

支払期限までに受検手数料のお支払いがない場合、受検申請は無効になります。

職業能力開発促進法施行令の規定により、**受検申請受理後は、受検をしなかった場合であっても受検手数料の返還はいたしません**。次回以降の受検手数料に充当することもできません。ただし、天災・その他受検者の責に帰することのできない事由により受検できなかった場合は返還することがあります。受検手数料以外に決済方法により、振込手数料や事務手数料(80円、税込)がかかります。また、振込手数料や事務手数料は申請者のご負担となります。

## (9) 受検申請内容の変更などについて

**受検申請後は、申請内容の変更はできません**。ただし、住所、改姓、連絡先などの受検者個人の属性に関する事項に限り変更可能です。該当事象が発生した場合、速やかに受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、受検サポートセンターまでお送りください。

なお、住所に変更があった際は、受検票や試験結果通知など通知物が届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどをご利用ください。

## (10) 障がいのある方、介助が必要な方について

障がいのある方で受検時に一定の配慮が必要な方や、試験当日に介助者など受検者以外の方の同伴が必要な場合は、受検申請後の10/6(火)～10/9(金)の期間に受検サポートセンターにご連絡ください。

上記期間外や送付状、その他申請時の添付書類に記載頂いても受理できませんので、予めご了承ください。

## (11) 試験当日に必要な持ち物について

試験当日に必要な持ち物は下記のとおりです。作業により必要な持ち物が異なりますので、よく確認してください。なお、必要な持ち物を忘れた場合、試験会場でお貸しすることはできません。(詳細は、受検票にてお知らせいたします)

①受検票(写真(3×4cm)を必ず貼付)

②筆記用具(HBかBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)

③指定された設備・工具など(電気系保全作業実技試験のみ)  
※設備・工具の詳細は、公式サイトをご確認ください

④腕時計(会場によっては時計がない、見にくい場合あり)

※通信機能や音が出る時計は使用不可

※携帯電話、スマートフォンを時計代わりに使用できません

⑤電卓(特級実技、設備診断作業実技のみ)

※四則演算などの標準機能の電卓に限ります

※使用可能な電卓の詳細は公式サイトをご確認ください。

続きは次ページへ

## (12) 感染症拡大防止等の対策について

### 1. 2020年度第2回機械保全技能検定試験の実施

#### (1) 試験実施の可否について

- 現時点(2020年7月時点)の状況においては、2020年度第2回機械保全技能検定試験は予定どおり実施いたします。
- 今後の機械保全技能検定試験の実施可否については、下記の事象が発生した場合、中止もしくは延期等の判断を行う場合があります。
  - (ア) 緊急事態宣言の発令等が全国又は一部地域で発令された場合
  - (イ) 感染症拡大状況や社会的情勢に変化が生じた場合
  - (ウ) 受検者の感染予防対策、感染症拡大防止策、ならびに試験開催準備(資材運搬、会場確保、運営スタッフ確保等)に何かしらの支障が発生した場合
- 実施可否に関わる情報は、逐次更新される場合がありますので、公式サイトのご確認をお願いいたします。

#### (2) 受検申請と試験会場の立地・定員について

- 受検案内(P.5~P.7)掲載の試験実施地区への会場設置に向けて準備を行っております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策等で自治体や会場施設側の貸出の制限等により、下記の影響が想定されます。
  - (ア) 予定している試験実施地区での会場設置が出来ない場合、試験実施地区で会場設置が出来ない場合は、近隣地区での開催になることがあります。  
※確定した試験会場は、受検票にてお知らせいたします
  - (イ) 試験会場の収容数に制限が出て、受検申請が定員を超える場合、受検申請が定員を超えた場合で近隣会場にも余裕がない場合は、受検申請を取り下げいただく場合がございます  
※上記以外で、団体企業様の会場施設をお借りしての会場においては、企業で定められた対応策、または本ガイドラインに準じて運営・対応をお願いいたします

### 2. 試験会場来場の際の受検者へのお願い

#### (1) 受検者への依頼事項

- 受検者(ならびに運営スタッフ等)は、試験会場において下記事項の協力をお願いします。
  - (ア) 試験会場における感染症拡大防止への協力
  - (イ) マスクの持参および会場内でのマスクの着用
  - (ウ) 会場におけるこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

#### (2) 試験日直近の体調等の報告

- 受検者は、受検票に下記事項を記載欄に記録し、試験日当日提出してください。
  - (ア) 試験当日の体温の報告
  - (イ) 試験日前2週間における以下の事項の報告
    - a 平熱を超える発熱
    - b 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
    - c だるさ(倦怠感)、息苦しさ
    - d 嗅覚や味覚の異常
    - e 身体が重く感じる、疲れやすい等
    - f 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - g 同居家族や身近な知人の感染が疑われる方の有無

h 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触の有無

※運営スタッフも同様の確認を行います

※上記の提出がない方は受検または運営することができません

### 3. 試験会場での対応

#### (1) 試験会場における対応

- 下記の項目に従い、会場の設営および運営を行います。ご了承ください。
  - (ア) 試験会場の施設内に、石けんや消毒用アルコールを設置する等、手指の衛生を保つことができる環境を整備します。運営スタッフも適宜使用します。
  - (イ) 試験会場では、試験の実施に支障が生じない範囲で換気に努めます。
  - (ウ) 試験の配席に当たっては、原則として受検者相互に1メートル以上の間隔を取るよう配席を行います。
  - (エ) 試験会場内での移動により受検者等が密集することのないよう、入室、退室を一斉に行わないように配慮します。
  - (オ) 受検者に発熱、咳等の症状がみられた場合は、必要に応じて受検の自粛をお願いすることがあります。
  - (カ) 会場内では運営スタッフもマスク着用のうえ運営をさせていただきます。また、必要に応じ、フェイスシールドを着用して運営する場合があります。
  - (キ) 運営スタッフは、説明事項、注意事項のアナウンスの際は、受検者との対面を避けた対応となります。
  - (ク) 会場設備等(作業机等)はアルコール消毒を実施します。
  - (ケ) 電気系保全作業の実技試験にて使用する機材(事務局準備)は、適宜、アルコールなどの消毒等を施し、提供します。また、受検者準備の工具等においては、受検者自身でアルコール消毒をするなど感染症拡大防止対策をお願いします。
  - (コ) 感染症拡大防止対策により、一部試験の運営方法を変更する場合があります。その際は、変更にとまなう受検者への影響度合いにより、事前に公式サイト等での公開、もしくは試験日当日にお知らせします。

## 2 個人申請の流れ

## 受検案内の参照

受検案内は、最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえで、申請してください。  
申請された場合は、受検案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

## インターネット申請

受検案内確認 (※)

9月1日10:00～10月2日17:00

個人情報登録  
(個人マイページ登録)

P.18

9月7日10:00～10月2日18:00

受検申請  
申請情報の入力  
本人確認書類のアップロード  
受検手数料決済

P.20

## 郵送申請

受検案内確認 (※)

9月7日～9月25日消印有効

受検申請  
受検申請書記入  
本人確認書類の貼付

申請期間が  
短いので  
要注意

P.21

11月10日発送

払込取扱票の受取り

P.21

11月27日まで

受検手数料支払い

P.21

11月6日

電気系保全作業実技試験問題 (概要) の事前公開

※他の作業は「出題例」  
として常時公開

11月13日

受検票発送

試験

特・1級: 1月22日 10:00～  
2級 : 12月25日 10:00～

正解の公表

※電気系保全作業実技試験は、正解の公表はありません

3月19日 10:00～

合格発表

3月19日

結果通知発送

4月16日

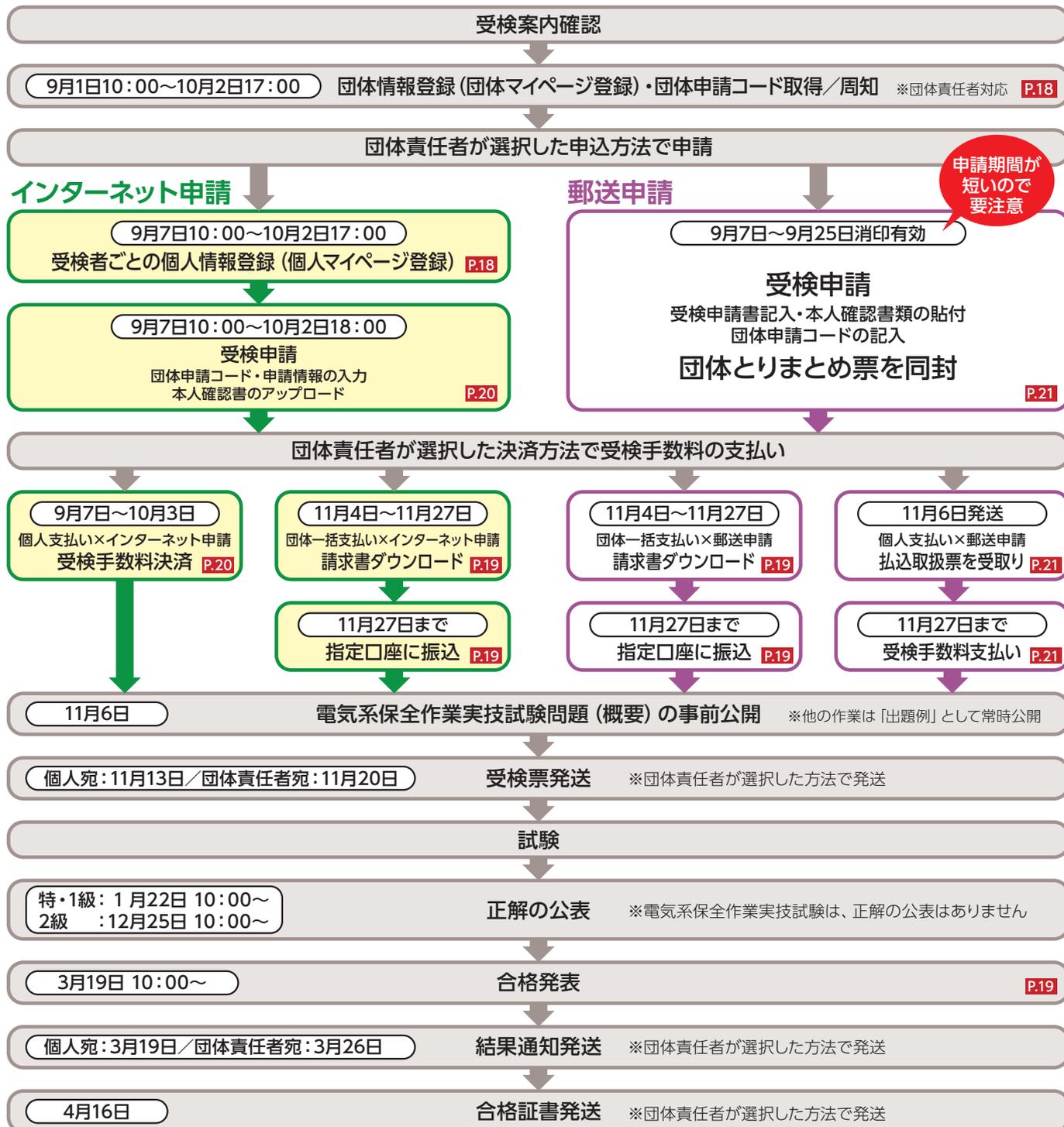
合格証書発送

※インターネット申請の場合、マイページから領収証のダウンロードや試験結果の確認が可能です

### 3 団体申請の流れ

#### 受検案内の参照

受検案内は、最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえで、申請してください。  
申請された場合は、受検案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。



#### 【団体一括請求 (支払い) における注意点】

振込先口座は、試験開催ごと (毎回) に変更になりますので、必ず請求書に記載されている振込先口座番号に振り込んでください。  
過去に使用された振込先口座番号は使用できません。

## 4 団体情報登録 (団体マイページ登録)

団体情報登録期間：9月1日(火) 10:00～10月2日(金) 17:00

- ・団体申請の場合、すべての団体で団体責任者による団体マイページの登録が必要です(郵送申請含む)
- ※すでに団体マイページを登録済みの場合は、「4. 決済・申込方法と各種送付先の登録」から始めてください

【登録手順】 ※詳細の登録手順は、インターネット申請マニュアルをご参照ください

1. 団体責任者は、下記サイトから登録してください。  
[https://www.cbtsol.com/kikaihozen/home/select/group\\_admin/](https://www.cbtsol.com/kikaihozen/home/select/group_admin/)
2. メールアドレスの登録
3. 団体情報の登録  
→マイページの作成が完了です。
4. 決済・申込方法と各種送付先の登録  
→決済方法・申込方法を登録する前に、下記の申請方法一覧をご確認のうえ、登録してください。  
(登録が完了すると、変更できませんのでご注意ください)

項目	インターネット申請	郵送申請
受検申請期間	9月7日(月) 10:00～10月2日(金) 18:00まで	9月7日(月)～9月25日(金) 消印有効
受検手数料の決済方法	クレジットカード・コンビニ・ATM(個人) 請求書(団体)	払込取扱票(個人) 請求書(団体)
本人確認書類の提出	本人確認書類をアップロード	受検申請書に貼付 ※学生の場合は校長等の署名で代替可
マイページから閲覧可能な情報	受検者申請情報 受検者確定情報(11月13日掲載) 試験結果(3月19日掲載)	受検者申請情報(団体のみ) 受検者確定情報(11月13日掲載)(団体のみ) 試験結果(3月19日掲載)(団体のみ)

- 登録する情報は、下記①～⑤のとおりです。  
※団体で個人支払いの場合は、払込取扱票の送付先も選択してください  
※①～⑤の方法などを団体内で分けたい場合は、団体情報登録を複数回行ってください

- |   |  |
|---|--|
| ①決済情報<br>領収書について<br>受検者ごとに領収書が必要な場合、情報登録で決済方法は「申込者個人での決済」を選択してください。「団体一括請求」を選択された場合、受検者ごとの領収書は、発行できません。 | ②申込方法<br>③受検票の送付先<br>④結果通知書の送付先<br>⑤合格証書の送付先 |
|---|--|

5. 団体申請コードを取得・周知  
→団体申請コードは、団体マイページから確認することができます。

※団体申請コードは試験回ごとに新たに発行されます。昨年度の団体申請コードは使えません

- 団体内の申請対象の方に、団体申請コードを周知してください。(受検申請の際に必要です)

## 5 個人情報登録 (個人マイページ登録)

個人情報登録期間：9月1日(火) 10:00～10月2日(金) 17:00

- ・インターネット申請の方のみが対象です。(郵送申請の方は対応不要です)
- ※すでに個人マイページを登録済みの場合は、登録不要です

【登録手順】 ※詳細の登録手順は、インターネット申請マニュアルをご参照ください

1. 申請者は、下記サイトから登録してください。
  - 団体申請として、個別に申込の方：<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/home/select/group/>  
※団体申請コードが必要です
  - 個人申請の方：<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/home/select/user/>
2. メールアドレスの登録
3. 個人情報の登録  
→マイページの作成が完了です。

## 6 団体／個人マイページの利用方法

公式サイトにアクセスし、ご登録いただいたIDとパスワードでログインすると、マイページへと進みます。受験申請から受検者確定情報、試験結果などの確認、登録内容の照会や変更などが行える受験申請者・団体窓口用の専用ページです。個人申請で郵送申請の場合は利用できません。

### 1. 申請内容の照会

#### (1) 申請情報の確認【個人&団体】

受験申請後確認入力完了しましたら、申請内容（氏名、等級、作業、区分、受験手数料、希望受検地など）が確認できます（郵送申請の場合は、掲載まで時間がかかります）。

#### (2) 団体一括請求書のダウンロード【団体のみ】

**11月4日(水)～**請求書のダウンロードが可能です。申請人数、受検区分、振込金額を確認のうえ、支払期限（11月27日）までにお振込みをお願いします。

※団体一括請求書の振込先口座は、試験開催ごとに変更になりますので、必ず請求書に記載されている振込先口座に振り込んでください。

過去に使用された振込口座番号は使用できません

※受験申請内容と請求書の内容が異なる場合は、受験サポートセンターにご連絡ください

※支払期限までに入金がない場合は、受検できません

#### (3) 受検者情報（確定情報）のダウンロード【団体のみ】

**11月13日(金)～**受検者情報（受検番号、氏名、等級、作業、区分、試験日、試験会場、集合時間）のダウンロードが可能です。

### 2. 試験結果

合格発表日に開催回の試験結果情報が掲載されます。公式サイトでの合格発表ページでは、合格者の受検番号のみの表記ですが、マイページでは受検者氏名ごとに合否と点数などが確認できます。また、データのダウンロードも可能です。

### 3. 個人あるいは団体情報の照会・変更

#### (1) 基本情報（IDやパスワードなど）

#### (2) 団体所在地、連絡先など

個人あるいは団体のマイページは、一度登録されると繰り返しご利用いただけます。試験回ごとに新たにご登録いただく必要はございません。  
すでにご登録されている方は、受験申請前に必ず最新の情報になっているかを確認してください。

## 7 受検申請期間・方法

## ① インターネット申請

**受検申請期間：9月7日(月) 10:00～10月2日(金) 18:00まで**

<https://www.kikaihozenshi.jp/>

- ・ 早めの個人情報登録、受検申請をお願いします。
- ・ 詳細は、公式サイトインターネット申請マニュアルをご参照ください。
- ・ 受検申請はスマートフォン・タブレットからでも申請できます！

## 1. 申請手順の概要

インターネット申請する前に確認すること

- 個人情報登録(個人マイページ登録)はお済みですか？(P.17参照)
- 本人確認書類は必ずカメラ機能で撮影し、写真データは端末に保存されていますか？  
※jpgファイルを準備  
※スクリーンショットで撮影した画像はアップロードできませんのでご注意ください。
- 団体申請の場合、団体申請コードが必要です。  
団体申請コードがわからない場合は団体責任者に確認してください
- 申請にかかる時間は10分～15分程度です。

## (1) 個人申請の場合

- ①入力フォーム(※)にしたがって申請情報の入力  
※<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/home/select/user/>
- ②本人確認書類のアップロード
- ③支払い方法を選択し受検手数料をお支払い  
..... 申請完了 .....

## (2) 団体申請の場合(団体申請として、個別に申込の方)

- ①入力フォーム(※)に従って団体申請コード・申請情報の入力  
※<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/home/select/group/>
- ②本人確認書類のアップロード
- ③団体責任者が団体情報登録(団体マイページ登録)にて選択した支払い方法で受検手数料をお支払い
  - 1) 個人支払い(クレジットカード/コンビニ/ATM)
  - 2) 団体一括支払い(請求書)  
※団体一括支払い(請求書)の支払期限=11月27日(金)
 ..... 申請完了 .....

## ② 郵送申請

**受検申請期間：9月7日(月)～9月25日(金) 消印有効**

**※インターネット申請よりも申請期間が短いのでご注意ください**

- ・受検申請書は、公式サイトからダウンロードし、A3サイズの内紙で印刷してください。
- ・詳細は、公式サイト内の郵送申請マニュアルをご参照ください。

### 1. 申請手順の概要

郵送申請する前に準備すること

- 最新版の受検申請書を公式サイトからダウンロードしましたか？(Word版とPDF版があります)
- 受検申請書は、A3サイズの内紙で印刷しましたか？  
※A4サイズなどA3サイズ以外の受検申請書は、受理できません
- 本人確認書類をコピーしましたか？

#### (1) 個人申請の場合

- ①記入(本人確認書類を貼付)した受検申請書を簡易書留で郵送  
※宛名は、郵送申請マニュアル内の宛名ラベルをご利用ください
- ②受検サポートセンターより払込取扱票を送付
- ③受検手数料を郵便局で払込み  
..... 申請完了 .....

#### (2) 団体申請の場合

- ①下記の書類を簡易書留で郵送
  - ・記入(本人確認書類を貼付)した受検申請書×人数分
  - ・記入した団体とりまとめ票※宛名は、郵送申請マニュアル内の宛名ラベルをご利用ください  
**※上記以外の送付状・メモなどは送付しないでください**

#### <個人支払い>

- ②個人支払い → 受検サポートセンターより払込取扱票を送付
- ③受検手数料を郵便局で払込み  
..... 申請完了 .....

#### <団体一括支払い>

- ②団体一括支払い → マイページから請求書をダウンロード
- ③請求書の指定口座に振込み

**払込取扱票の発送：11月10日(火)**

**払込取扱票の支払期限：11月27日(金)**

**団体一括支払い(請求書)の支払期限：11月27日(金)**

※受検申請内容と払込取扱票や請求書の内容が異なる場合は、受検サポートセンターにご連絡ください  
※支払期限までに入金がない場合は、受検できません

## 1 FAQ (よくあるお問合せ)

## 受検申請について

## Q. 試験会場・日程は選択できますか？

A. 受検地区については受検申請時に選択できますが、試験会場・日程については選択(指定)できません。受検票でご確認ください。

## Q. 受検申請書に写真は必要ですか？

A. 受検申請書に写真を貼付する必要はありません。

後日、郵送される受検票に写真を貼って試験当日ご持参ください。

縦4cm×横3cm・正面・脱帽・6ヵ月以内に撮影された写真の裏面に氏名・受検番号を記入してください。

## Q. 受検手数料は課税対象ですか？

A. 非課税です。振込手数料や事務手数料などは、課税対象です。

## Q. キャンセル(返金)はできますか？

A. 受検申請を行い、受理された受検申請で支払われた受検手数料は理由のいかんにかかわらずキャンセル(返金)できません。また、次回以降の試験への充当もできません。

## Q. 請求書の振込口座が昨年と違うのですが？

A. 試験回ごとに振込口座が団体ごとに割り振られる仕組みになっていますので、毎回振込口座が変更になりますのでご指定の口座にお振込みください。

## Q. 本人確認書類はどのような書類が該当しますか？

A. <本人確認書類として認められる証明書類の例>

①運転免許証

②健康保険証

③学生証(氏名、生年月日が記載されていること)

※上記の証明書類でも氏名および生年月日が確認できないものは、認められません

※学生の方の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)。

※①～③以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

## Q. 郵送申請の受検申請書が届いているか受領の確認をして欲しい。

A. 簡易書留の場合、配送の確認は日本郵便・郵便追跡サービスをご利用ください

受検サポートセンターでは個別の受け取り確認はいたしませんのでご了承ください。

## 受検資格について

## Q. 受検資格(No.)が複数該当する場合は、どのように受検申請書に記入すれば良いですか？

A. 受検資格が複数の項目で該当する場合でも、記入は1項目で結構です。A～Gの項目で該当する受検資格(短縮要件)を確認いただき、1つをご記入ください。その他の記入は不要です。

## 免除付受検申請と一部合格について

## Q. 過去に学科(実技)試験に合格しているのですが、いつまで有効ですか？

A. 1・2・3級は、永続的に有効です。特級については、合格した日から5年間有効です。

## Q. 過去に学科(実技)試験に合格しているのですが、免除付の受検申請はできますか？

A. ①平成27年度以降に技能士合格または一部合格の方(当会実施の試験で合格の方)

→可能です。受検申請書に技能士番号または一部合格通知番号をご記入ください。

技能士番号または合格通知番号が不明の方は公式サイトでの合格通知番号・技能士番号検索で番号を検索できます。

②平成26年度以前に技能士合格または一部合格の方(都道府県実施の試験で合格の方)

→免除付の受検申請はできません。合格後に合格証書交付申請をしてください。

## 受検票について

### Q. 受検票が届かない、紛失してしまった場合は、どうすればいいですか？

A. 発送日から1週間経過してもお手元に届かない場合、受領後に紛失した場合は、受検サポートセンターへお申し出ください。

### Q. 試験会場・日程は変更できますか？

A. 受検票に記載の試験会場・日程は変更できません。

## 受検申請後について

### Q. 受検申請後に引越したのですが、手続きは必要ですか？

A. 受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、受検サポートセンターまでお送りください。また、受検票や結果通知などが届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどを利用し、確実に届くようにしてください。郵便局の台帳に登録されていないと配達されないことがあります。詳細は、郵便局にお問合せください。

### Q. 受検申請後に氏名が変わったのですが、手続きは必要ですか？

A. 受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、氏名が変わったことがわかる書類（戸籍抄本や戸籍謄本など）の控えを受検サポートセンターまでお送りください。

## 試験の欠席について

### Q. 体調が悪い、冠婚葬祭、所用などで試験を欠席します。

A. 欠席のご連絡は不要です。試験日の変更や受検手数料の返金も行いません。また、次回以降の試験への充当もできません。

## 試験対策本（テキスト）や試験対策講座について

### Q. 機械保全技能検定についての勉強方法やテキスト、講座について知りたいのですが？

A. 当会はテキストの発行や、対策講座を実施しておりません。また、個別のご案内も行っておりません。お手数ですが、インターネットなど検索してください。

## 2 お問い合わせ先

### 機械保全技能検定 受検サポートセンター

TEL : 03-5209-0553 (平日10:00~17:00) FAX : 03-5209-0552

お問合せフォーム : <https://www.kikaihozenshi.jp/contact/>

※公益社団法人日本プラントメンテナンス協会は、機械保全技能検定業務の一部を株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズに委託しています



厚生労働大臣指定試験機関

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance